

学校評価結果報告書

1 調査内容 16項目の質問に対して、次の4段階で回答をいただいた。

Aそう思う Bある程度そう思う Cあまり思わない D思わない

	評価内容	A	B	C	D	無		A	B	C	D	無
1	本校の子どもは、あいさつができています。	3	12	7	0	0	1	13.6%	54.5%	31.8%	0.0%	0.0%
2	本校の教職員は、生活・行動面の指導を適切にしている。	1	17	4	0	0	2	4.5%	77.3%	18.2%	0.0%	0.0%
3	学校は、子どもに道徳性を育成するため取り組んでいる。	2	17	2	0	1	3	9.1%	77.3%	9.1%	0.0%	4.5%
4	学校は、いじめやのない学校づくりに努めている。	5	16	1	0	0	4	22.7%	72.7%	4.5%	0.0%	0.0%
5	家庭で、人権問題や学校での人権学習について話し合うことがある。	5	8	7	2	0	5	22.7%	36.4%	31.8%	9.1%	0.0%
6	学校は子どもと向き合い、子どもや保護者からの相談に丁寧に対応している。	5	15	2	0	0	6	22.7%	68.2%	9.1%	0.0%	0.0%
7	学校は教育方針、家庭への連絡、情報提供に努めている。	2	19	1	0	0	7	9.1%	86.4%	4.5%	0.0%	0.0%
8	本校の教職員は、学力向上のため指導方法を工夫している。	4	17	1	0	0	8	18.2%	77.3%	4.5%	0.0%	0.0%
9	自分の子どもは、授業がよくわかり楽しいと言っている。	3	13	6	0	0	9	13.6%	59.1%	27.3%	0.0%	0.0%
10	子どもは家庭で本や新聞を読んでいる。	3	5	10	4	0	10	13.6%	22.7%	45.5%	18.2%	0.0%
11	学校は、感染症対策や防災教育等、命を大切に取る取組を積極的に行っている。	5	15	2	0	0	11	22.7%	68.2%	9.1%	0.0%	0.0%
12	子どもは将来に向けて、夢や希望をもっている。	5	10	6	1	0	12	22.7%	45.5%	27.3%	4.5%	0.0%
13	学校は、保護者や地域の願いに応えようとしている。	3	17	2	0	0	13	13.6%	77.3%	9.1%	0.0%	0.0%
14	子どもは地域の行事に参加している。	3	13	6	0	0	14	13.6%	59.1%	27.3%	0.0%	0.0%
15	学校は、「ふるさと学習」を推進し、ふるさとを愛する心を育てるように努めている。	7	15	0	0	0	15	31.8%	68.2%	0.0%	0.0%	0.0%
16	学校は、小中一貫校の特色をいかした取組を行っている。	5	13	3	0	1	16	22.7%	59.1%	13.6%	0.0%	4.5%
17	子どもは、目標をもって、部活動に取り組んでいる。	2	6	1	0	0	17	22.2%	66.7%	11.1%	0.0%	0.0%

2 考察

肯定率（A・Bで回答）が約 82 %であり、全体的に保護者の満足度は高いと言える。なかでも、設問 15（ふるさと学習の推進）については保護者全員の方から肯定的な回答が得られた。「ふるさとを愛し、次世代を心豊かにたくましく生きる児童・生徒の育成」を学校目標に掲げ、「ふるさと学習」を通して地域と連携して子どもたちを育てることを目指している。昨年度からコミュニティスクールも始まり、地域の方との協力体制も整いつつあり、保護者の方にも理解いただいている結果ではないかと考える。今後も更に「ふるさと学習」の充実に努めたい。

その他、90%以上の肯定的な回答を得た設問として、設問 4（いじめのない学校）、設問 6（相談への対応）、設問 7（情報提供）、設問 8（学力向上）、設問 11（命を守る教育）、設問 13（保護者・地域の願い）の 6 項目を挙げることができる。いじめのない学校、命を大切にする取組で高い評価をいただいたことは大変うれしい限りである。安心・安全な学校づくりに今後も引き続き取り組んでいきたい。また、相談への対応や情報提供の項目については担任が中心となり、家庭との連携を密にし、良好な関係を築けた成果であると考えます。

一方、否定的回答「Cあまりそう思わない」、「D思わない」の多かったのは昨年度と同様の設問 5（人権問題学習）、設問 10（読書）である。人権学習や読書の習慣が子どもたちの生活に浸透していくよう、日々の教育活動を通して継続して取り組んでいく必要がある。また、人権問題学習を保護者や地域の方に授業公開するなどして、子どもも大人も共に学び考える機会を設けていきたい。また、設問 1（あいさつ）は昨年度全員が A・B の肯定的回答であったが今年度は 31.8%の方が「Cあまりそう思わない」と回答している。あいさつができていないというわけではないが、相手からあいさつされてから返すことがあったり、あいさつの声が小さく伝わっていなかったりすることもある。自分から進んでしっかりと挨拶ができる習慣を学校全体でつくっていきたい。

細かく見ていくと、設問 12（将来の夢）については、否定的回答が約 1 / 3 となっており、この点については今後キャリア教育を中心にして、子どもの将来の夢や希望を重視した教育活動を進めていかなければならないと考える。

3 総括

令和 5 年度は徳島県初の小中一貫校としては 7 年目をむかえる。「ふるさと学習」を核とした小中一貫教育を一層推進し、小規模小中一貫校の強みを生かした教育活動を発展的に展開していきたいと考える。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のための制限等も緩和され、日常の生活が戻りつつある。地域の方に学校に足を運んでもらう機会を増やし、地域との連携を一層深めていくことで地域とともにある学校づくりに努めていきたい。